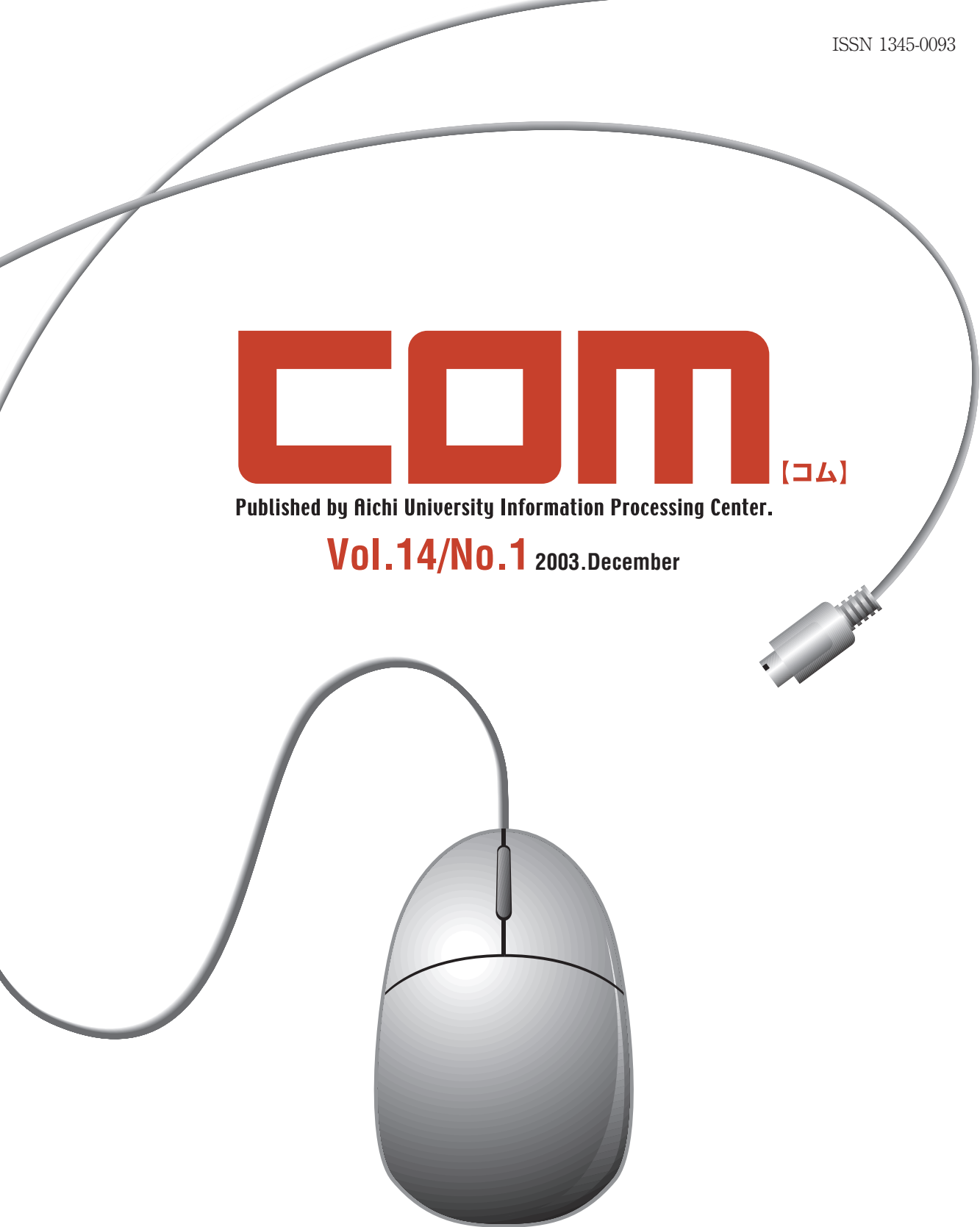


COM 【コム】

Published by Aichi University Information Processing Center.

Vol.14/No.1 2003.December



情報処理センター利用案内

◇サービス時間〈月～土曜日〉

(※都合により変更する場合があります。掲示をご覧ください。)

名古屋校舎

期 間	第1・2・3実習室	マルチメディア教室 (中央教室棟)	E201教室 E202教室 (東教室棟)	マルチメディアコーナー 〈メディアゾーン〉 (図書館棟2F)
通常講義 定期試験	9:20～19:50	講義利用のみ	9:20～18:10	9:20～20:00
補講 集中講義			試験前	
	試験後		9:20～18:10 <small>＊ 教室は講義利用のみ)</small>	9:20～19:00
上記以外	9:20～19:00	休み期間は原則閉室		

豊橋校舎

期 間	420教室 (オープンアクセスルーム)	メディアコーナー (図書館)※1	413教室・421教室・ 423教室・424教室・ 国際コミュニケーション学部パソコン教室(523教室)
通常講義 定期試験	9:10～21:00	9:20～21:00	講義利用のみ (420教室の状況により一般利用できます。)
補講 集中講義	試験前	9:10～21:00	
	試験後	9:10～19:00	
上記以外	9:10～19:00	9:20～18:30	

※1 メディアコーナーは、豊橋図書館の運用日程に準じます。

車道校舎

期 間	実 習 室
通常講義 定期試験	16:00～21:30 土曜のみ 15:30～
補講 集中講義	16:00～20:00 土曜のみ 15:30～
上記以外	

■センター閉室日 日曜日・祝日・夏期休暇・年末年始・創立記念日(11/15)・入試期間

◇メールリストサーバ

アドレス	list@aichi-u.ac.jp
subjectの記述	meibo 教員 meiboj 職員
郵送される資料	電子メールアドレス

はじめに

情報処理センター副所長 龍 昌治

本学に情報処理センターが設置されて、15年が経過しようとしている。その間に社会における情報処理の位置づけも大きく変化してきた。あわせて学内のコンピュータ利用教育も、従来の情報処理プロセスを研究指導するものから、エンドユーザコンピューティングにおける情報利用を中心とするものになってきている。あわせて、学部それぞれの専門教育において、進展する情報技術を利用し、研究や学習に役立てようとする動きが急速に普及している。

多くの講義室では、黒板とチョークに加え、ビデオなどの映像機器やコンピュータなどの情報機器を資料提示に使うことも増えてきた。さらに語学教育においても、積極的に情報機器を取り入れ、いわゆるeラーニングによる学習を模索し始めている。国際間の遠隔講義システムも実用段階に入ろうとしている。学生たち自身の意識変化も大きく、情報機器を利用した学習に大きな期待を持っている。

2004年度から計画されている第6期情報システムに向けては、情報機器の整備拡充ばかりではなく、これら学内の教育研究への情報技術活用を支援し、リードすることが求められている。折りしも、車道校舎にはインテリジェントビルの建設が進み、あらたな情報拠点としての活用が検討されている。

情報処理センターに求められる役割は大きく変化している。これが、次期情報システムを検討するメンバーの共通理解である。多くの制約条件の中、また環境変化の激しい中で、学生や教職員に必要な情報サービスは何か、どこまで提供できるか、その答えを探している。

サービスの提供は、提供者、受益者双方の合意があつてこそ成立する。先端的かつ冒険的な教育研究を支え、あるいは堅実で地道な教育研究を着実に進めるため、学生諸君、教職員諸兄の声をお聞かせいただきたい。学生や教員それぞれが求めるサービスを提供し、ともによりよい教育研究環境を構築していきたい。

